

記入例 年度途中退職者

【注意事項】太枠内はすべて（「備考」欄以外）記入してください。

地方公務員等共済組合法施行令第46条関係

任意継続組合員申出書

※退職日まで引き続く組合員期間が1年と1日以上ある方のみ申し出ることができます。（組合員期間は、引き続くすべての公務員期間を合算）

組合員記号番号	公立媛 12345678		組合員期間	1年と1日以上有	
退職後の住所（転居する場合は新しい住所）を記入 ※この住所へ資格情報のお知らせ（該当者には資格確認書同封）を送付します	コウリツ タロウ	性別	退職時の標準報酬月額	千円	
昭和 〇年 5月 4日	公立 太郎	男	所属所コード		
令和 〇年 9月 30日	退職時の所属所名	愛媛県立えひめ高等学校			
退職後の住所	〒790-0001 愛媛県松山市一番町〇丁目〇番地〇 △ビル506号室				
電話番号（携帯電話・自宅）	090-****-****	医療費受給者証の有無（有・無のいずれかを○で囲む） ※有の場合、「受給者証の写し」を添付	ひとり親等	障がい等	
	089-****-****		有・無	有・無	
掛金の納入単位（1～3のいずれかを○で囲む） ※前納（1・2）の場合、割引あり	1: 12か月前納 ……4月～翌年3月分（年度途中加入時も初回は3月分まで） 2: 6か月前納 ……4月～9月分、10月～翌年3月分（年度途中加入時も初回は9月分または3月分まで） 3: 毎月払い ……初回のみ2か月分納入 注記：いずれの場合も、初回掛金は払込書等での入金				
初回掛金の納入方法（1・2のいずれかを○で囲む） ※年度末退職で2月までに様式配付した者のみ記入	1: 3月に口座振替 ……4月 2: 4月に払込書等による入金 ……3月 （2の場合も、2回目以降は口座振替）				
被扶養者の継続認定（1～3のいずれかを○で囲む） ※3の場合、継続認定する人数を記入し「被扶養者継続認定（人数）」を記入	1: 現在認定中の被扶養者はいない 2: 現在認定中の被扶養者は、全員継続認定しない（取消） 3: 現在認定中の被扶養者のうち、継続認定する者がいる 継続認定する人数を記入 継続認定（人数） 2 人 ……継続認定する者について別紙「任意継続申出用 被扶養者確認書」を記入して添付してください。 注記：継続認定しない被扶養者の資格喪失証明書が必要な場合は、「資格喪失証明書 交付申請書」を提出してください。				
継続認定する被扶養者がいる場合は必ず記入し、「任意継続申出用 被扶養者確認書」を作成して添付（「確認書」に記載のない被扶養者は退職日の翌日で取消）	地方公務員等共済組合法第144条の2第1項の規定により、任意継続組合員となることを希望するので申し出ます。 公立学校共済組合愛媛支部長 様 令和 〇年 9月 30日 申出者 組合員氏名 公立 太郎				
	（退職前に記入する場合）退職日 （退職後に記入する場合）記入日				

※「任意継続組合員申出書」の1枚目を添付（又は後日提出）してください。（9枚目は本人保管用）

※任：【掛金納入単位について】例：7月加入の場合

- *12か月前納 [初回] 7月～翌年3月分（払込等） [2回目] 翌年4月～翌々年3月分（口座振替）
- *6か月前納 [初回] 7月～9月分（払込等） [2回目] 10月～翌年3月分（口座振替）
- *毎月払い [初回] 7・8月の2か月分（払込等） [2回目] 9月分（口座振替）